

森林資源再生支援事業（シカ防護柵点検管理）について

木材増産推進課

1. 事業概要

○シカ等による苗木の食害を防ぐため、シカ防護柵の点検及び補修を行うことにより防護柵の機能を維持する。

【予算額】1,617 千円 （入）1,617 千円（森林環境税）

補助率：定額 21,000 円/日・2 人

補助先：林業事業者



2. 現状（背景）

○シカ防護柵設置後、シカ等の野生鳥獣による破壊や降雨等の自然災害による破損が発生すると、シカが侵入し苗木の食害が発生する。

※シカの侵入後、対策が行われなかった場合、食害により成林しない可能性がある。

○シカ防護柵を設置しても確実にシカの侵入を防ぐことは困難で、事業者から対策を求める声は多い。

○ネット設置後の管理は、基本的に森林所有者が行うこととなるが、高齢化等により定期的に見回することは困難である。

3. 期待される効果

○シカ防護柵の機能が維持され、食害を抑えることができる。

○長期間防護柵の管理を行わない状況で補修するよりも、定期的に管理する方が補修に係る費用を削減することができる。

